

## 今後の保育園運営について

子育て支援課

### 1 保育の現状

#### (1) 児童数・園児数の推移

- ・出生者数は平成22年以降、年間600人を下回る。

年	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
出生者数	683	656	749	671	669	648	560	574	572	582	523

- ・園児数も減少していくと見込まれる。

- ・児童数は今後も減少していくと見込まれる中、未満児の割合は増加傾向。

年齢	H22	H23	H24	H25	H26	H27
0歳児	39 (6.6%)	77 (14.2%)	60 (11.2%)	63 (11.0%)	62 (11.5%)	72 (13.7%)
1歳児	157 (24.3%)	157 (25.9%)	147 (26.7%)	132 (23.6%)	149 (25.5%)	147 (26.8%)
2歳児	224 (34.5%)	196 (30.3%)	204 (33.7%)	205 (36.8%)	196 (35.4%)	196 (33.3%)
合計	460 (22.2%)	430 (23.9%)	411 (24.3%)	400 (23.7%)	407 (24.3%)	415 (25.0%)

上段は園児数。下段は全体に占める割合。

各年度 3月1日現在

- ・空き待ち保育園児数 (H28.4.1 現在 単位：人)

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
23	20	9	1	0	0

※一般的な「待機児童」ではなく、希望する保育園への入園を待つ児童数

- ・人口減少が顕著な地域は、保育園の存続が危ぶまれる状況

新山保育園、高遠第2・3保育園、長谷保育園

#### (2) 多様化する保育ニーズと保育サービス

- ・提供する保育サービス

延長保育	通常の保育に続き、時間を延長して保育する
休日保育	休日に家庭で保育できない場合に保育する
病後児保育	病後回復期の児童を保育する
一時預り	入園していない児童を一時的に保育する

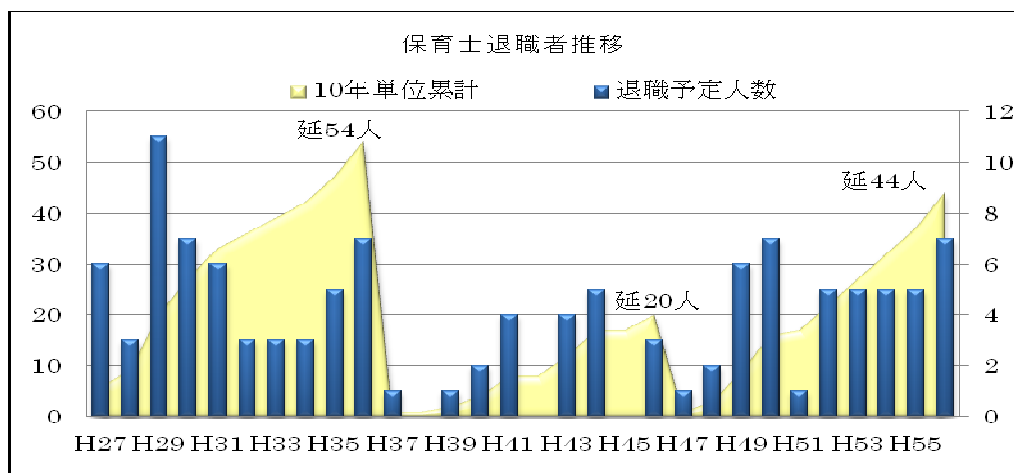
- ・保育を取り巻く社会環境
    - … 家族形態の多様化
    - … 親の就労や勤務形態の多様化
    - … 保育ニーズの多様化
- 多様な  
保育サービス  
の要望

・市町村による認可（地域型保育）事業

事業類型	事業主体	事業実施場所等	認可定員
小規模保育事業	市町村・民間事業者等	保育者の居宅、施設	6～19人
家庭的保育事業	市町村・民間事業者等	保育者の居宅、施設	1～5人
事業所内保育事業	事業主等	従業員の子ども＋地域の子ども	
居宅訪問型保育事業	市町村・民間事業者等	保育を必要とする子どもの居宅	

(3) 職員の状況

- ・保育士の年齢層の構成割合がアンバランス
- ・向こう十数年で多数の退職者が見込まれる。（10年間で54人の退職者）



- ・保育士全体では減少、未満児を受け持つ職員は増加

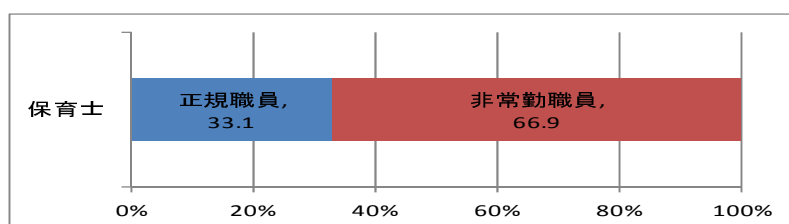
保育士の人数

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27
正規	124	124	120	120	117	115
非常勤	283	259	235	237	236	232
保育士計	407	383	355	357	353	347

保育士配置基準（保育士1人あたり園児数）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
伊那市	3	5	6	15	27	30
国	3	6	6	20	30	30

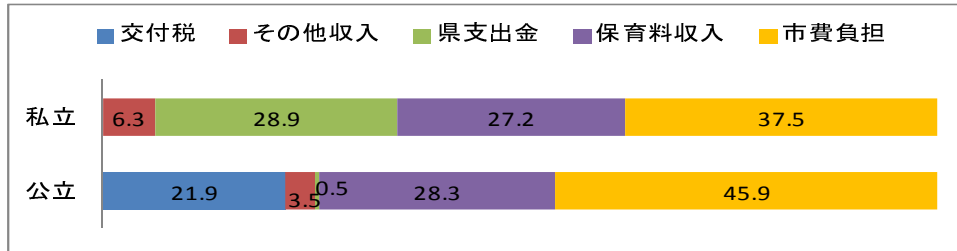
- ・保育士の正規率は概ね3割



- ・恒常的に非常勤保育士の確保が困難

(4) 保育運営の状況

- ・ 公立保育園の運営費は、市の一般財源であり約 2 割が地方交付税措置
- ・ 私立保育園の運営費は、保育料収入、県や市の補助金で構成



(5) 保育園整備の経過と今後の計画予定

- ・ 平成 27 年度中に伊那市保育園整備計画（平成 22 年度策定）の後期の実施計画を策定

【後期計画期間】平成 28 年度～平成 32 年度（5 カ年）

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
前期計画	統廃合・耐震化						
後期計画		計画策定	統廃合等による改築及び既存施設整備 (中大規模改修、電気機械設備改修) 改修: 内外装、屋根、建具、照明、水道、衛生機器類等				

2 現状から見える保育の課題

- ・ 保育サービスの充実
- ・ 保育体制の整備と保育の質の向上
- ・ 雇用と職員の処遇改善
- ・ 小規模保育園の継続など